

風の駅壱番館

1. 共同生活上のルールは必要最低限に

食事の時間・入浴の時間・就寝の時間・起床の時間などが共同生活上の基本的なルールです。これ以外もこまごまとしたルールが存在しますが、定期的に見直す必要があります。ルールは共同生活する人たちが互いを尊重し、集団としての利益を守るためにあるのであって、支援者する側の都合で決められるものでは絶対あってはならないと思います。

2. ひとりひとりの生活スタイルを尊重する。

これまで育ってきた環境はひとりひとりが違います。この違いを最大限尊重した支援を心がけたいと思います。おのずと限界はあると思いますが、最大限に受け入れられるように努めていきたいと思います。

3. 豊かな生活を実現する。

風の駅単体で生活を豊かにすることはできません。介護施設でのデイサービスや生活介護事業所での生活支援に加えて、ふうでの外出支援や居宅介護支援事業所の外出支援も利用しながら、ひとりひとりの生活が豊かなものになるよう、これまで以上に連携を深めながら調整していきたいと思います。

4. 保護者の高齢化による必要性の高まり

保護者の高齢化によりグループホームへの移行が検討され始めます。ご本人にとっては生活のスタイルが大きく変化することとなります。ましてや急に変化するとすればそのストレスは大変大きなものとなる可能性があります。可能であれば移行を視野に少しずつ体験を重ねながら緩やかに実施していくことが良いかと思います。

保護者のみなさんにはその機会を提供できるよう体制を整えていきたいと思います。

5. 法人理念の要～法人全体で支える

生まれ育った地域で必要な支援を受けながら暮らし続ける。

この理念を最終的に保障するサービスが風の駅壱番館です。なごみかぜのスタッフの皆さんには普段の業務に加えての応援となりますが、ぜひ理念の実践者として積極的に応援していただきたいと思います。

(文責：大場保治)